

鹿児島大学生協 おさがり市場

第039号
(通算549号)



[消費者]

取り組み概要

日時：10/17～18
場所：中央食堂
参加者数や組合員の反応
二日間の参加者：142名
学生や職員など様々な人が参加した

● 背景や概要：
● 不要になった物を回収し、必要とする
● 人へ無償で配る取り組み。家電や衣服は
● もちろん、小物や書籍など幅広い物品が
● 集められた。

いら
ない
物
を
有
効
活
用
！

POINT.1

長期間の実施で物品をたくさん集める！



不要になった物を回収するにあたって、約1年に渡って回収をおこないませんでした。SNSでの情宣はもちろん、**複数のキャンパスの食堂に回収BOXを設置したり、食堂でのマイク情宣などを長期間、根気強くおこないました。**始めたころはなかなか物品自体が集まりはしませんが、徐々に家電や衣服など様々な物品が集まりました。最終的には**衣服や家電、小物、本など200以上の物品**が集まりました。

POINT.2

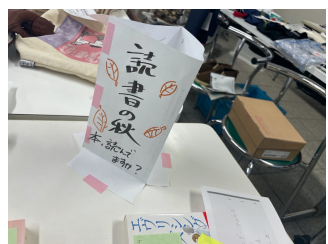
学生組合員だけでなく多くの方が参加！

当日は食堂の後方に列ができるほど興味を示した人がいました。学生組合員はもちろん、**大学の職員さんや生協職員はもちろん、地域に住んでいる住民の方なども足を運び、物品を見て回っていました。**多くの方が**自分に必要な物を笑顔で受け取って帰っていました。**学生だけではなく、**様々な人たちが参加し、集まるきっかけになった企画**となりました。



POINT.3

+ 1 の視点を取り入れる



物品は家電から小物、本など多岐にわたりました。その中でそれぞれの物品の中に組織部員がPOPを作成し、興味を引くように工夫がされていました。本のコーナーには**読書の秋と絡めたPOPを作成したり、「あなたの運命の一冊あるかも!？」などのPOPを作成することで参加者へ読書推進もおこなわれていました。**このような**企画の中に様々な分野の視点を+1できているのは素晴らしいですね。**

